

かんぱろー山田 くじら山ろく

避難所山柳

南小学校避難所

庭先の 希望をたくす 一輪花

この国の 真価問われる 政治力

ふるさとの 光景変えた 大津波

阿部慎太郎

青少年の家避難所

悪夢より ふた月近し 木々青葉かな

子らの声 鯉も桜も かんげいし

避難所の 皆に助けられ 生きるわれ

被災地を めぐりめぐりて 立止まる

互礫より 水仙の花 たくましく

流木

元気が 母の口ぐせ もう一度

山崎

山田高等学校避難所

五月晴れ みなが平安 祈る日々

たのはまこまろ

引き受けた 投句一句に 四苦八苦

Sin・Bad

退所時の 体重計が 気にかかり

腹いっぺえ

朝が来て 希望と絶望 入れかわる

たっこ

桜ろる 一夜の夢が つめのあと

たのはまこまろ



避難所短歌

自衛隊員の 奏さししうべに こぐべたれ

じっと聞き入る ふるさとのうた

天地異変に おったまげたが 引きこもり

慣れぬ共同生活で 世の中覚える

波の呆人

平成の三陸大津波

犠牲となられた方々へ捧げる歌

鈴木健

綿津見の 怒れる神よ 何ゆえに

嗚り狂いて 命をぞ呑む

かきめ鳥 波間に沈む 人影見れば

しばし身を寄せ 鳴いて弔え

人の世は 果なく無常と、言うけれど

余りに憎し 天変の地異

海ゆかば 水浸く屍と 存りしとて

永遠に忘れじ 君が面影

哀れなる 姿ぞこれに 尽さるかも

親を背に負い 抱く子ら吞まるる

テレビのニュースで避難者のための新聞を編集していることを知り、明るい歌ではありませんが、犠牲者への供養になればと詠まれたそうです。

今回は、たくさんの川柳・短歌の応募がありましたので、特集号にしました。ありがとうございます。次回も、たくさんの応募をお願いします。

みなさん
ごまごま
ごまごま

